



夏の青い海はすばらしいけれど、
冬の荒波も胸打たれますよ。

嫁いできた当時は大家族だった。夫の祖父祖母、両親と若夫婦の三世代、さらに夫の妹もいっしょ。「とてもにぎやかで楽しかったし、いろいろな教わり勉強になりました」。それから時は過ぎ半世紀。吉村梅香さんたち夫婦は、二〇二六年にめでたく金婚式を迎えた。

もともとは家族で農業を営んでいたが、町の東端に位置する石脇海水浴場に海水浴客のための休憩所(海の家)を始めた。それが夏場だけにシーズンを限った民宿へと発展する。海の晴れる館と書いて「海晴館」。この、気持ちのいい宿名の名付け親は、「大おじいさん(祖父)です」。一九八七年からは、夏限定ではなくフルシーズン営業となった。ヒラメの姿造りなど、新鮮な海の幸がどっさりテーブルにのぼる民宿に根強いファンが多い。

多忙な日々だが、見事な手工芸品づくりにも勤しむ。表地と裏地の間に薄い綿を入れ指し縫いする「キルト」だ。赤富士や浮世絵などの絵柄もすばらしいが、モダンアートを思わせるしゃれたデザインも目を引く。仕事の合間を見て二年かけた大作などは圧倒的だ。

二〇〇八年から館内に軽食喫茶コーナーも設け、長男の妻が中心になって営業している。ポルトガル生まれのハワイアンスイーツ(揚げドーナツ)マラサダドーナツは大人気だ。

「夏の真っ青な海はきれいですけれど……」と、海辺のキルト作家は言う。「冬の日本海の荒波も、とても胸打たれますよ」。

海晴館
吉村梅香



ゆ
う
ゆ
う、
ゆ
り
は
り
ま